

令和 7 年度
市民意識調査報告書

令和 7 年 11 月

燕市企画財政部企画財政課

目 次

	頁
1. 調査の概要	3
(1) 目的	3
(2) 調査方法	3
(3) 回収結果	3
(4) 報告書の見方	3
2. 集計結果	4
問1 (ア) 性別	4
(イ) 年齢	4
(ウ) お住まいの地区（小学校区）	5
(エ) 居住形態	5
(オ) 家族構成	6
(カ) 職業	7
通勤・通学先	7
(キ) 燕市居住年数	8
問2 利用している情報媒体	9
問3 インターネットの利用状況	10
問4 将来も安心して燕市に住み続けるための取組	11
問5 自治会等への参加状況	13
問6 住みやすさ	14
問7 居住意向	14
市外に引っ越したい理由	15
問8 まちづくりに対する満足度	16
問9 「共働き」について	17
問10 将来の燕市に期待すること	19
3. 調査票	20

1. 調査の概要

(1) 目的

本調査は、「第3次燕市総合計画」の進行管理に当たり、市民が日頃まちづくりや身近な生活環境についてどのように考えているのかを把握するとともに、各施策の満足度等を明らかにすることにより、施策の優先順位の検討等に資することを目的とする。

(2) 調査方法

本調査の方法は、下記のとおりである。

項 目	内 容
調査地域	燕市全域
調査対象者	燕市内在住の満18歳以上の男女個人 (令和7年7月現在)
標本数	2,000人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配付・回収方法	郵送配付、郵送回収またはウェブ回答
配付・回収期間	令和7年8月15日(金)～令和7年9月8日(月)

(3) 回収結果

有効回収数：1,050票（有効回収率52.5%）

(4) 報告書の見方

- ①回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答の設問の場合、全ての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。
- ③基数となるべき実数(N)は、特に記述のない限り、有効回収数である。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑤前回の市民意識調査と設問、選択肢が変更になっているものがある。

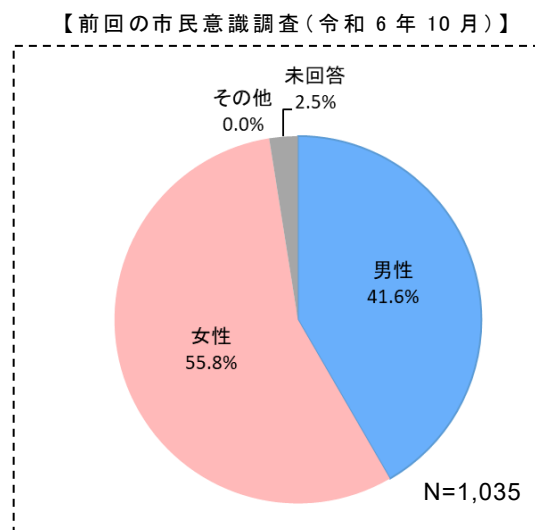
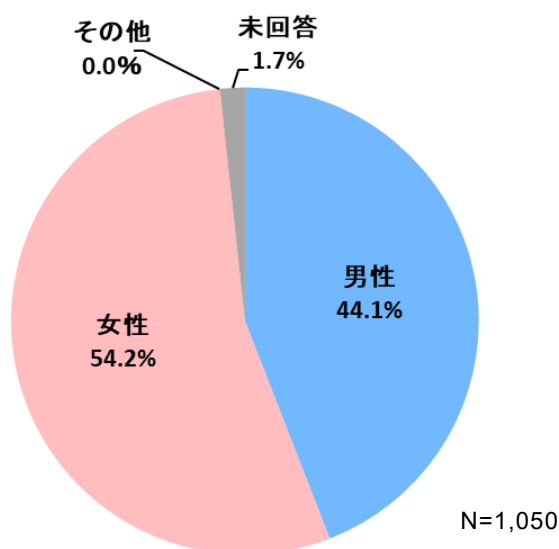
2. 集計結果

問1 あなたご自身についておたずねします。

(ア) あなたがとらえているあなたの性別は

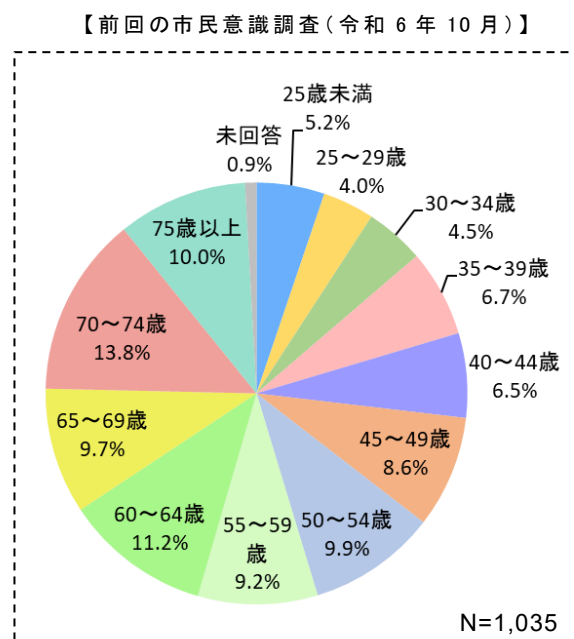
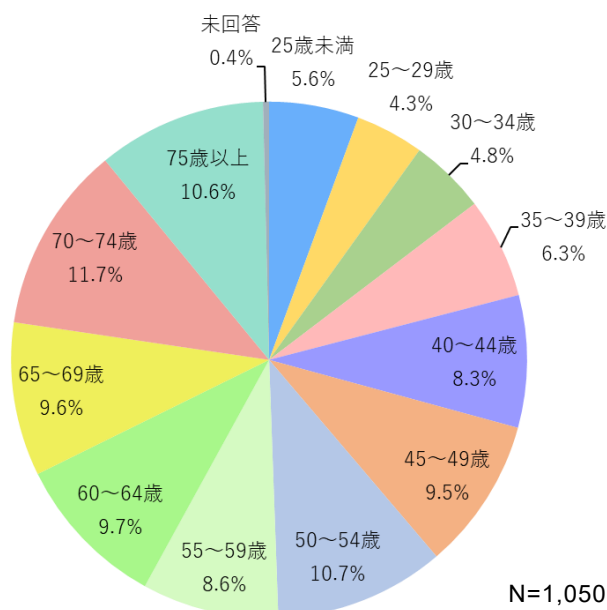
「男性」が44.1%、「女性」が54.2%であり、前回調査と比較して、「男性」は2.5ポイント増加、「女性」は1.6ポイント減少、未回答0.8ポイント減少した。

「その他」の選択肢は、0.0%となっている。



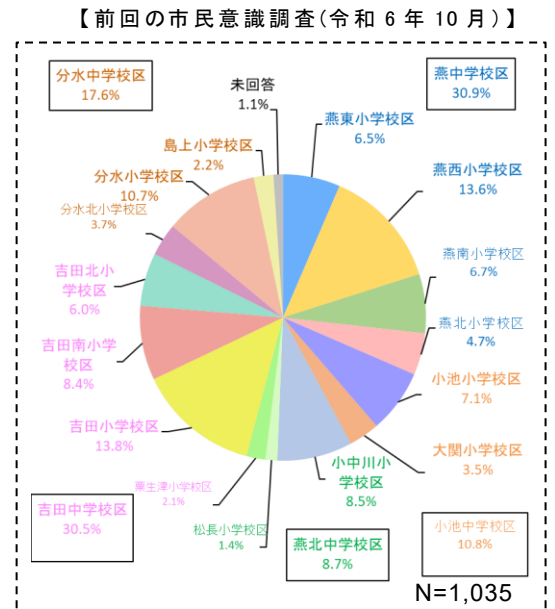
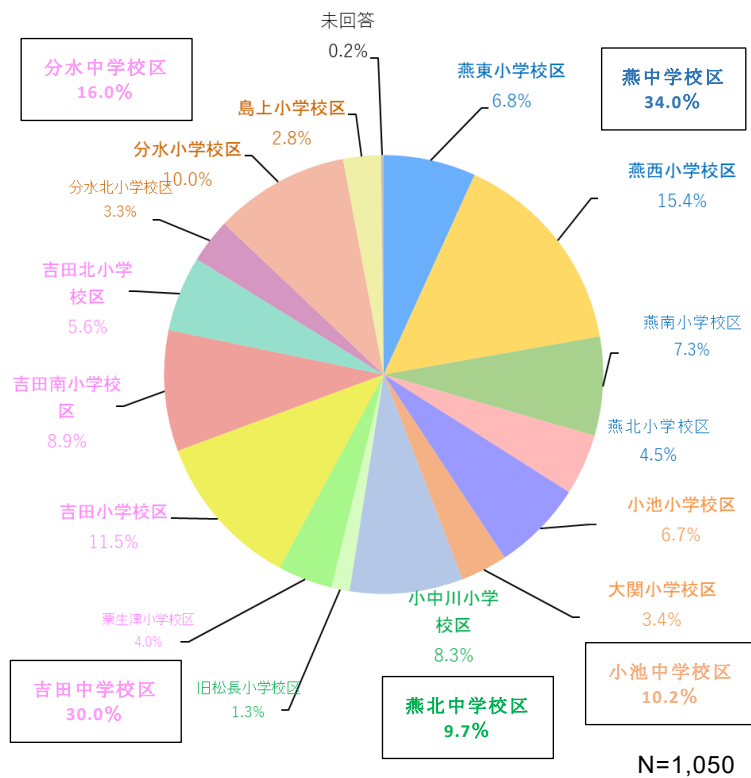
(イ) あなたの年齢は

年齢別の割合は、「70～74歳」が最も多く11.7%、次いで「75歳以上」が10.6%、「60～64歳」が9.7%となっている。前回調査との比較では、「70～74歳」が1.6ポイント、「75歳以上」が1.1ポイント増加した一方、若年層である「25～29歳」「30～34歳」がいずれも増加し、39歳以下の合計で0.6ポイント増加した。



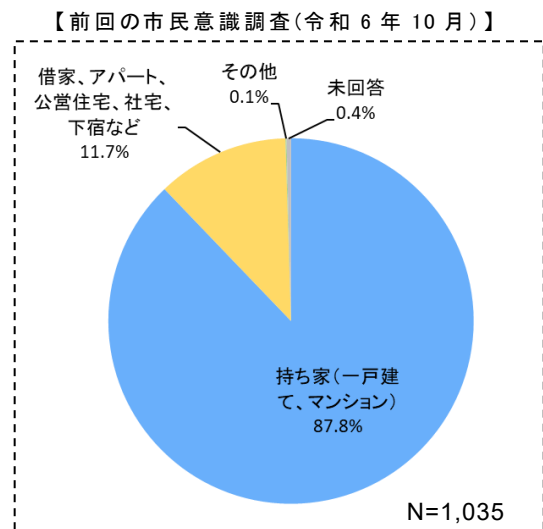
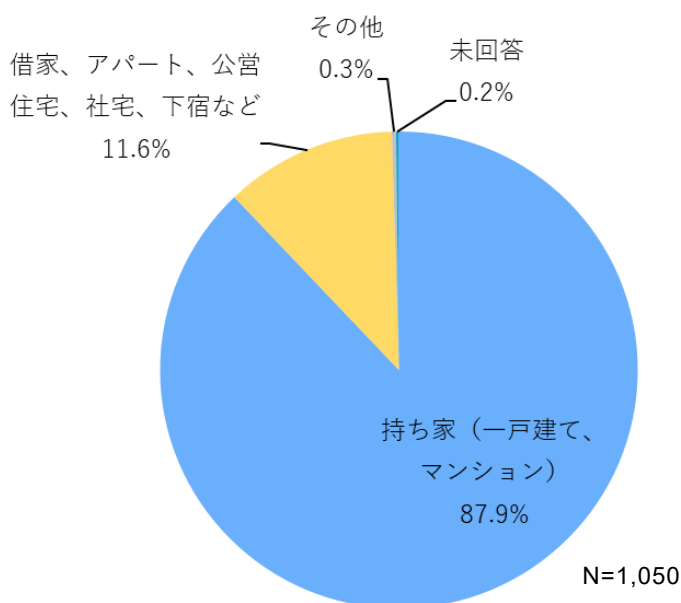
(ウ) あなたのお住まいの地区（小学校区）は

居住地域別では、「燕西小学校区」が最も多く 15.4%、次いで「吉田小学校区」が 11.5%、「分水小学校区」が 10.0%となった。



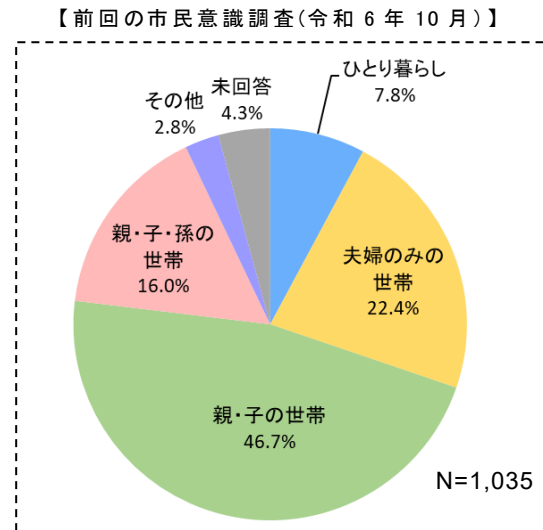
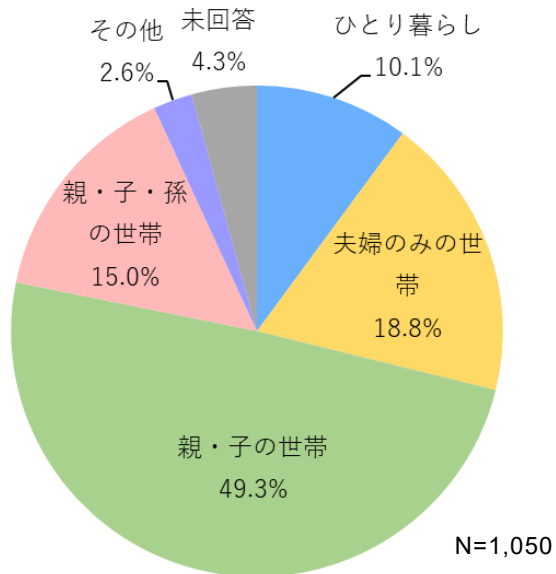
(エ) あなたのお住まいの形態は

「持ち家（一戸建て、マンション）」が 87.9%、「借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など」が 11.6%となった。



(オ) あなたのお住まいの家族構成は

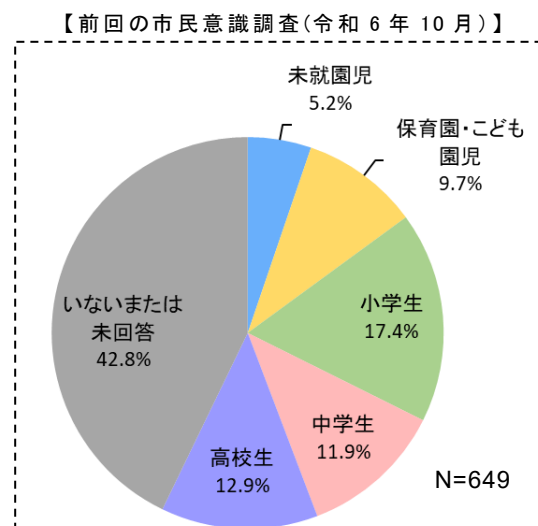
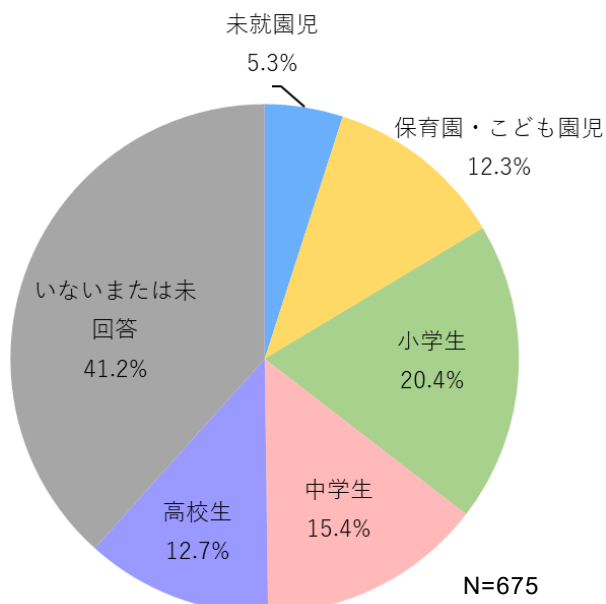
「親・子の世帯」が最も多く 49.3%、次いで「夫婦のみの世帯」が 18.8%、「親・子・孫の世帯」が 15.0%となった。



18 歳未満のお子さんがいる場合

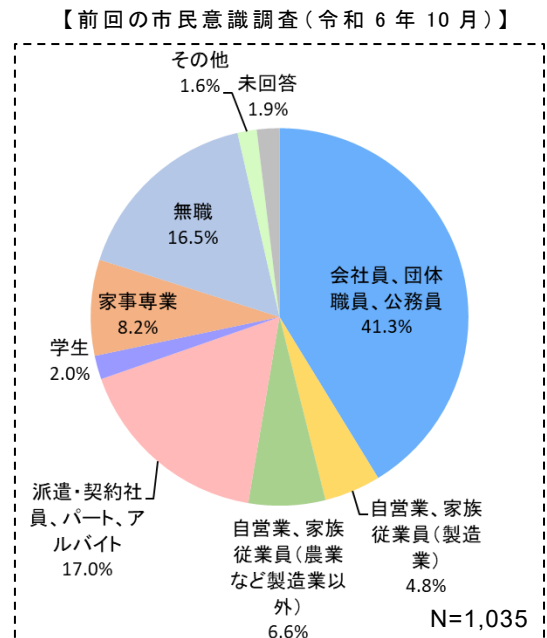
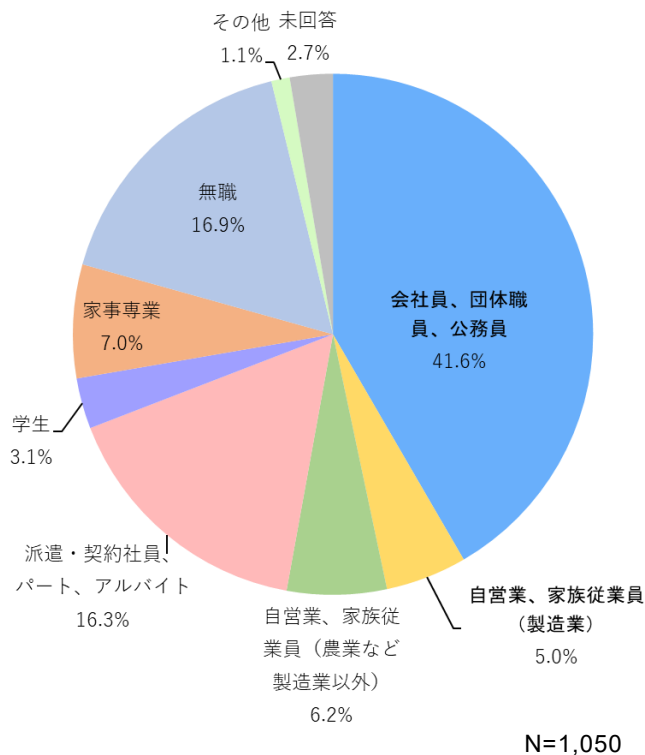
〔「親・子の世帯」または「親・子・孫の世帯」を回答した方限定〕

「いないまたは未回答」が最も多く 41.2%、次いで「小学生」が 20.4%、「中学生」が 15.4%となった。



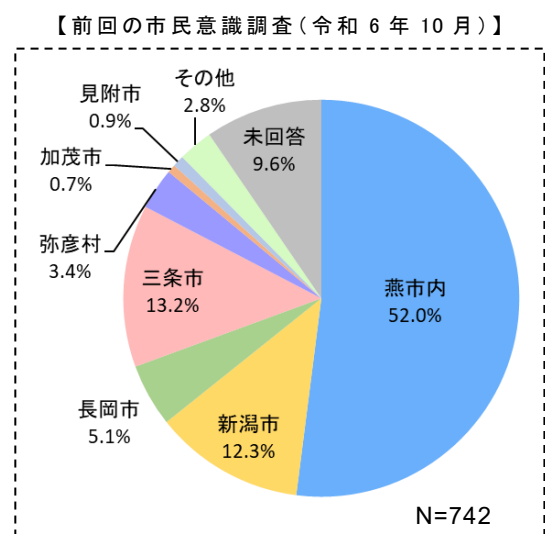
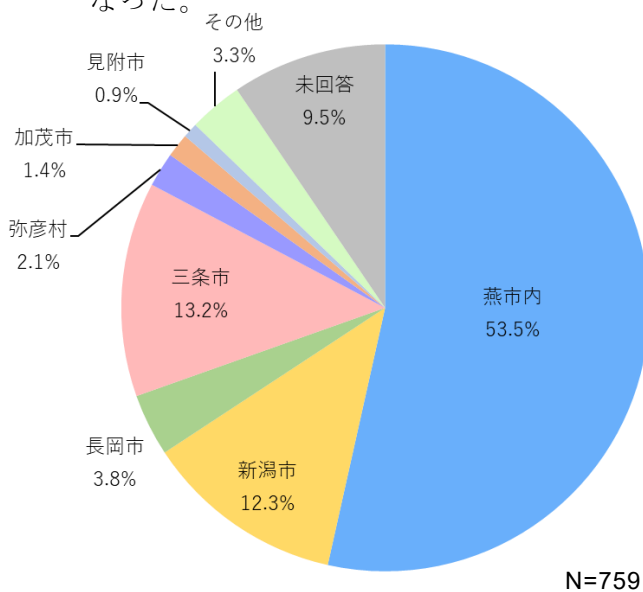
(カ) あなたのご職業は

「会社員、団体職員、公務員」が最も多く 41.6%、次いで「派遣・契約社員、パート、アルバイト」が 16.3%、「無職」が 16.9%となった。



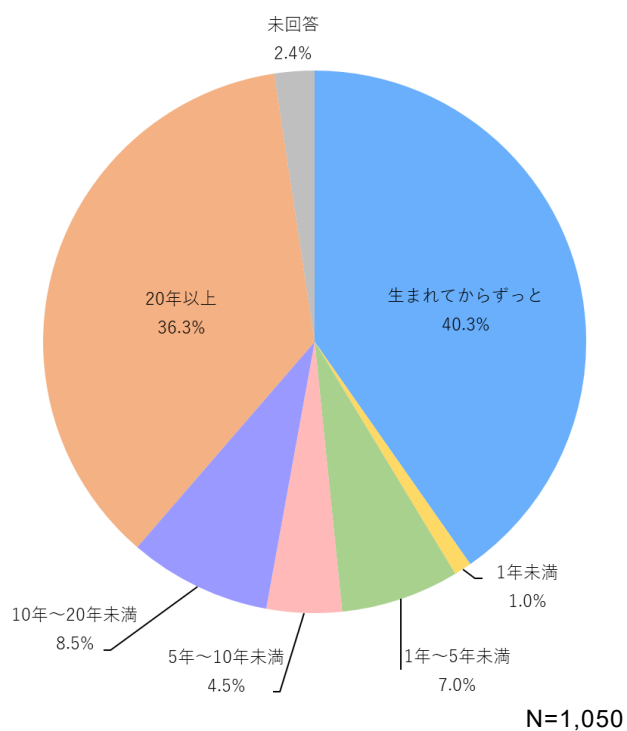
通勤・通学先は

「燕市内」が最も多く 53.5%、次いで「三条市」が 13.2%、「新潟市」が 12.3%となった。

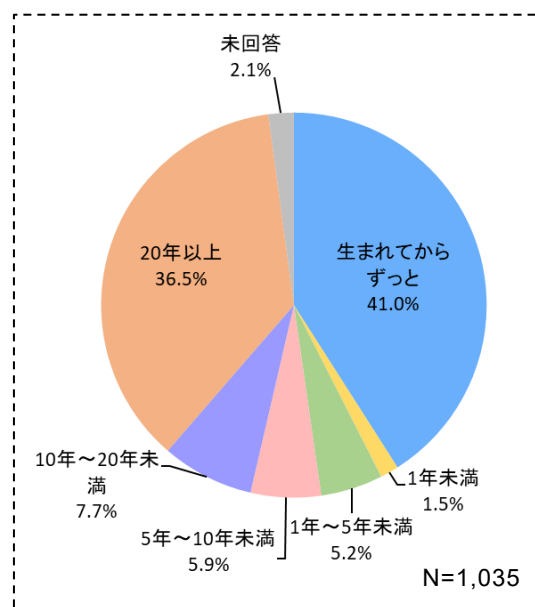


(キ) あなたが燕市に住みはじめてからの年数は

「生まれてからずっと」が最も多く 40.3%、次いで「20 年以上」が 36.3%となっており、この2つの選択肢で7割以上を占めた。

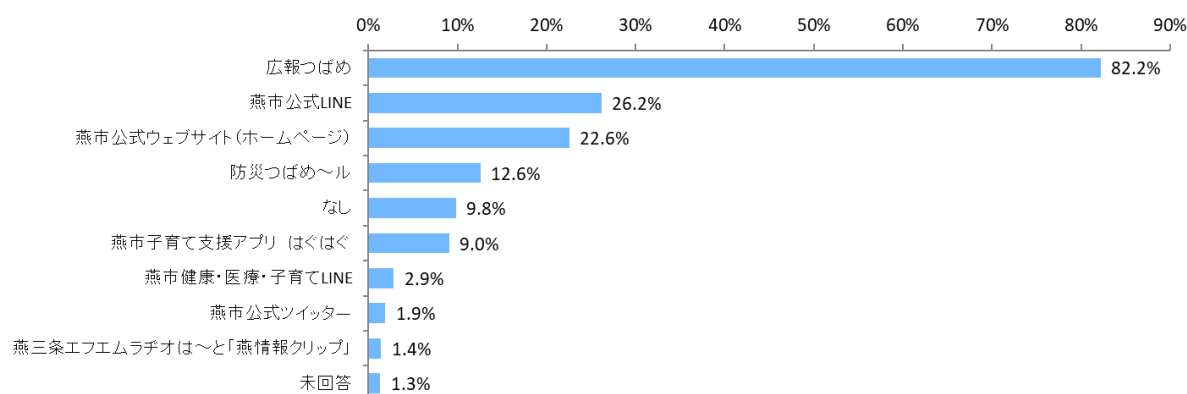


【前回の市民意識調査(令和6年10月)】



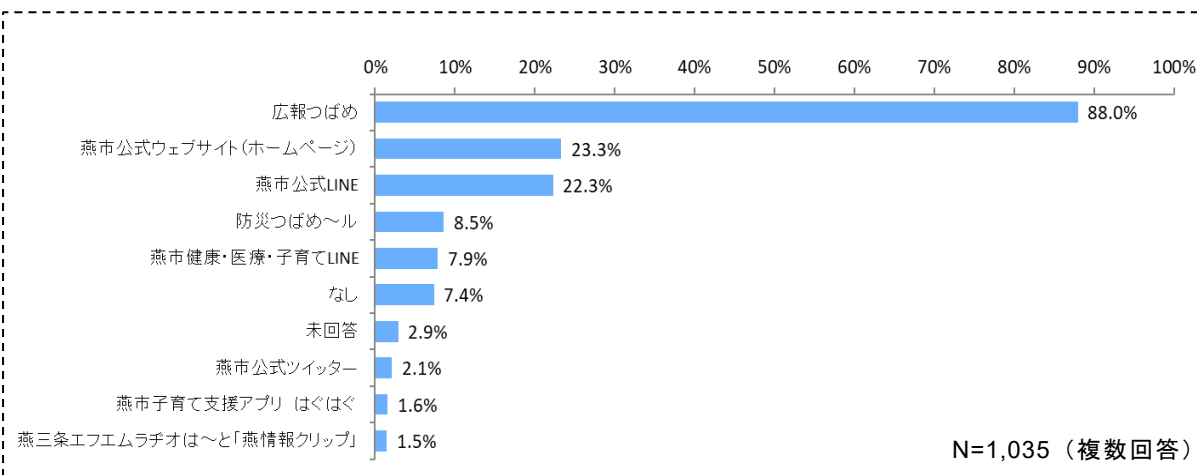
問2 あなたは、どの情報媒体を利用（読む／見る／聴く）して、燕市の情報を取得していますか。

利用している情報媒体については、「広報つばめ」が最も多く 82.2%、次いで「燕市公式 LINE」が 26.2%、「燕市公式ウェブサイト（ホームページ）」が 22.6%となった。前回調査との比較では、「燕市公式 LINE」が 3.9 ポイント増加し、「広報つばめ」に次いで利用されている情報媒体であった。



N=1,050（複数回答）

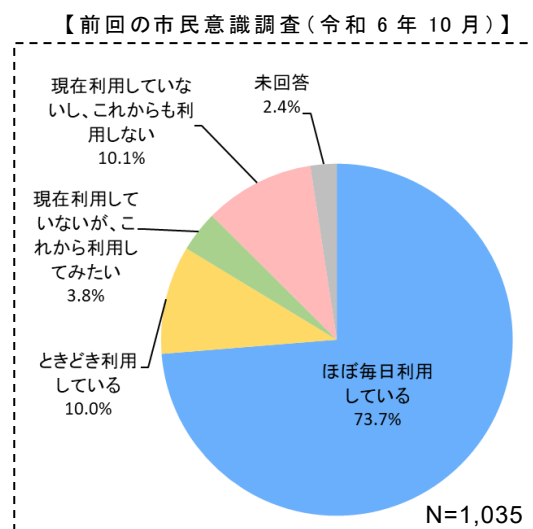
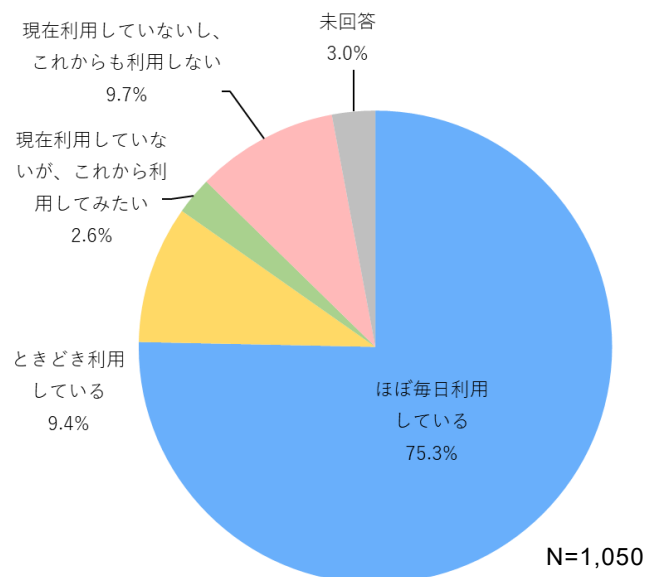
【前回の市民意識調査（令和6年10月）】



N=1,035（複数回答）

問3 あなたは日ごろ、スマートフォンやパソコン、タブレットなどの機器を使用してインターネットを利用していますか。

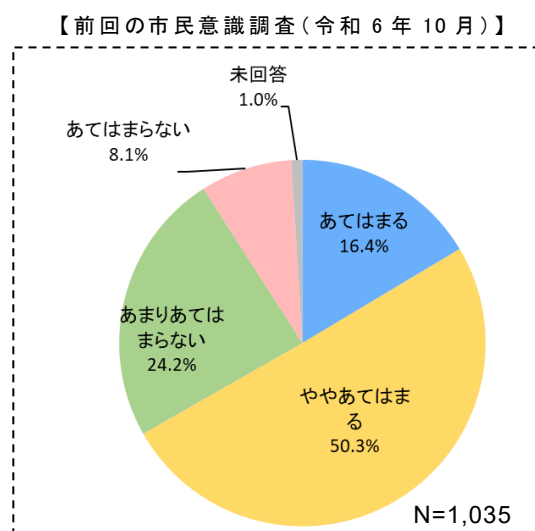
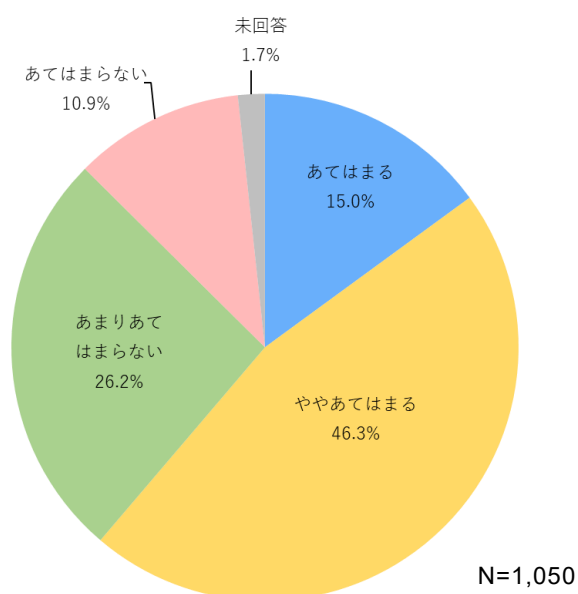
「ほぼ毎日利用している」は75.3%であり、前回調査と比較して1.6ポイント増加した。



問 4 将来も安心して燕市に住み続けるため、下記のことについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

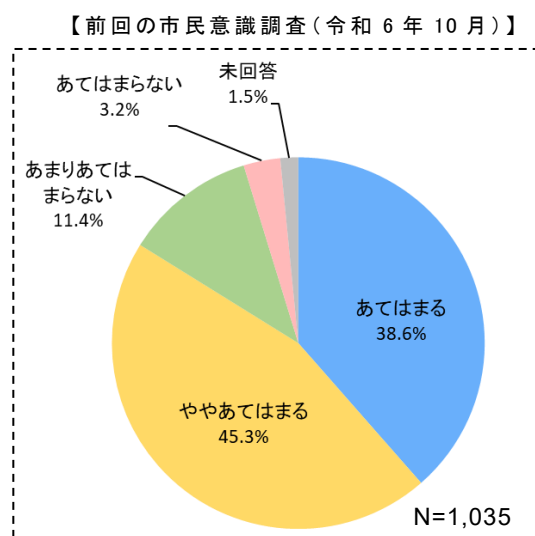
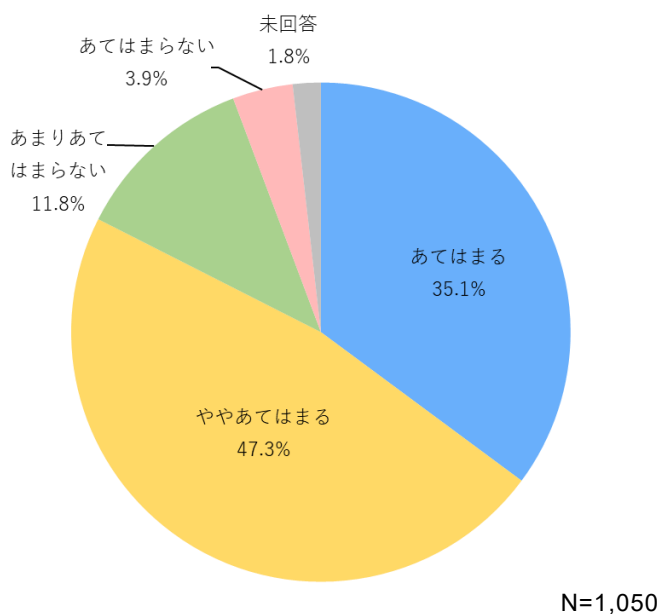
1. 地球温暖化防止を意識して、省エネに取り組んでいる（こまめな消灯などの節電や、省エネ製品の購入・買い替え、太陽光発電の設置など）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 61.3%であり、前回調査と比較して 5.4 ポイント減少した。



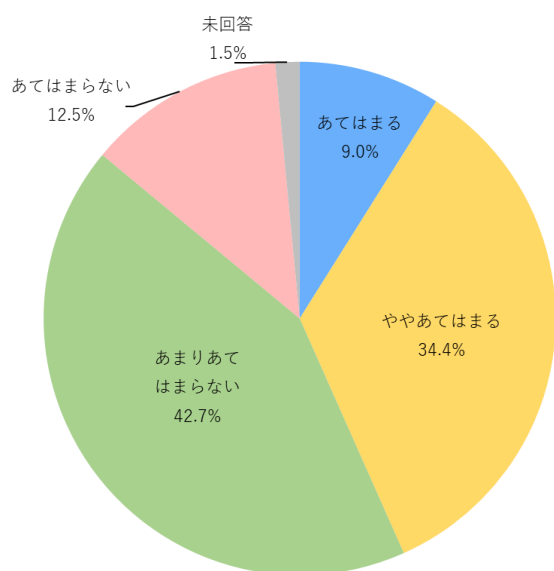
2. 性別、年齢、国籍、障がいの有無など、一人ひとりが持つ様々な違いを個性として認めている（多様性・人権の尊重）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 82.4%であり、前回調査と比較して 1.5 ポイント減少した。

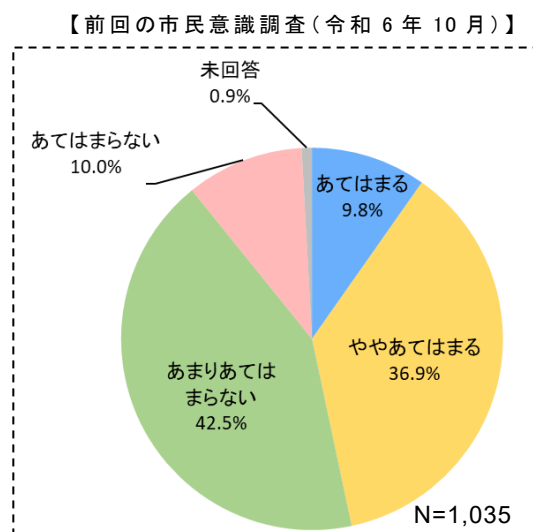


3. 自然災害に十分備えている（食料の備蓄、避難所の場所を確認、洪水ハザードマップで自宅の位置を確認、風水害におけるマイ・タイムラインの作成、災害時における家族内の連絡方法の確認など）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 43.4%であり、前回調査と比較して 3.3 ポイント減少した。

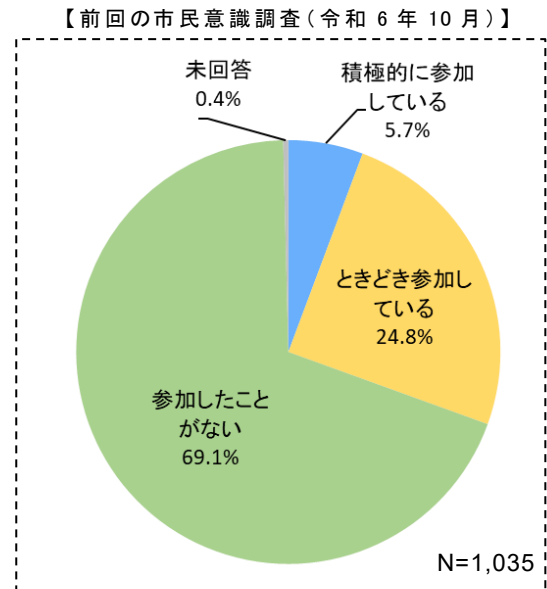
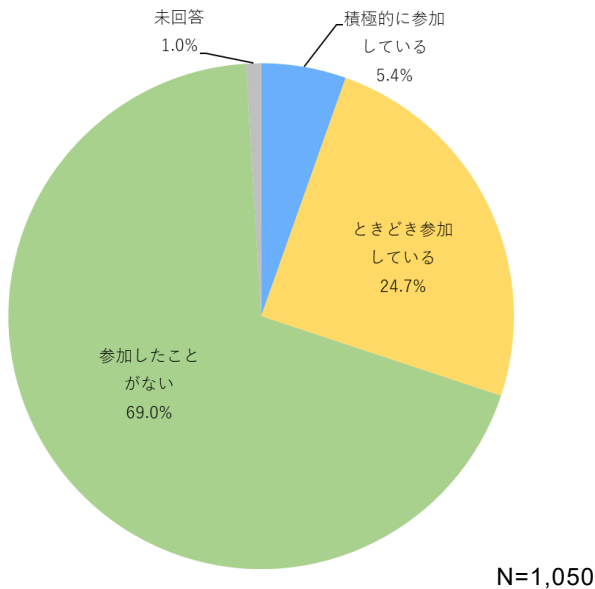


N=1,050



問5 あなたは、最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動に、どの程度参加していますか。

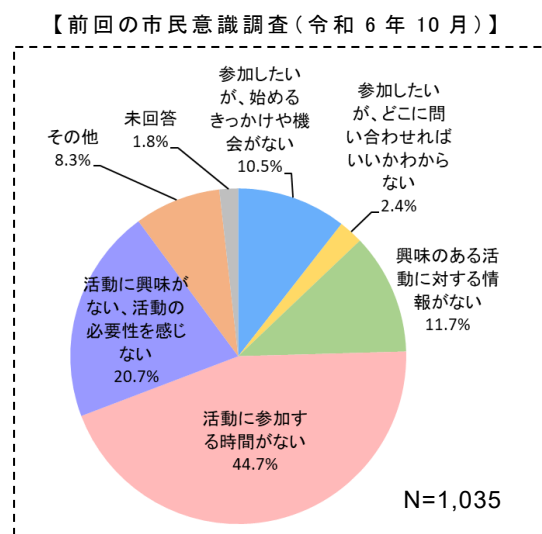
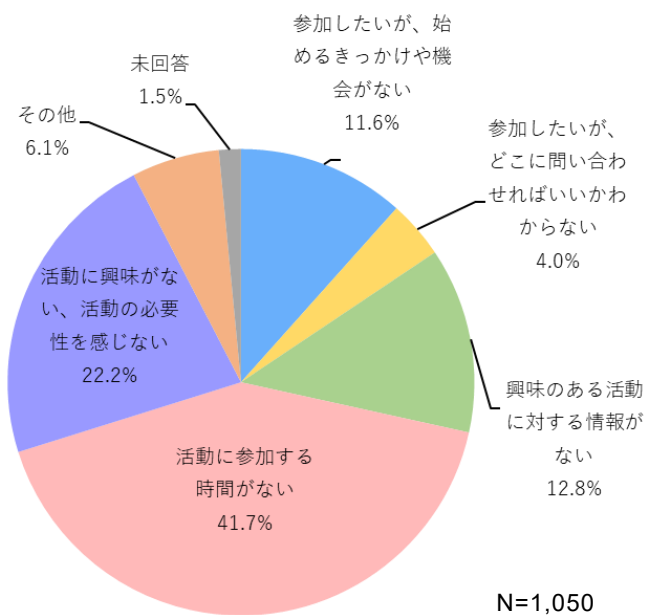
「積極的に参加している」が5.4%、「ときどき参加している」が24.7%、「参加したことがない」が69.0%となった。前回調査との比較では、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が0.4ポイント減少した。



参加したことがない理由について

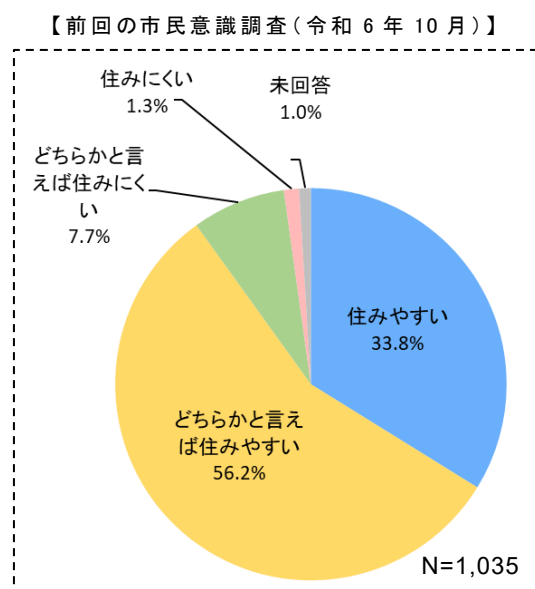
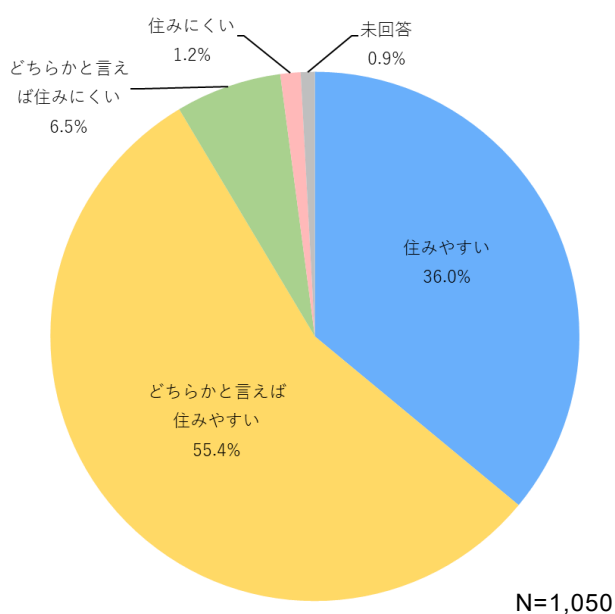
〔「参加したことがない」を回答した方限定〕

「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」から「活動に参加する時間がない」までの約7割の方の潜在的な活動意欲を活かしきれていない状況となっている。



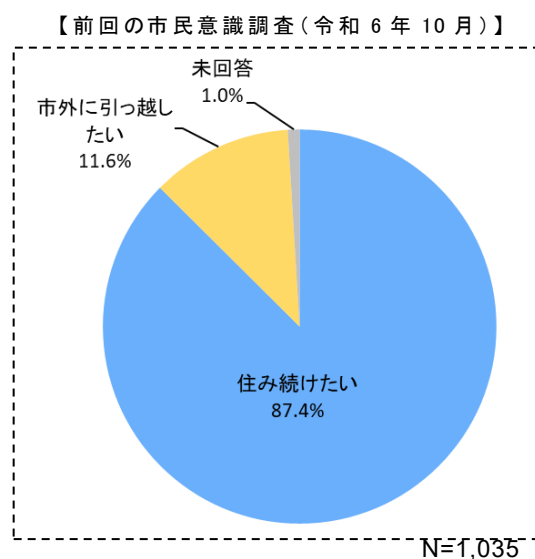
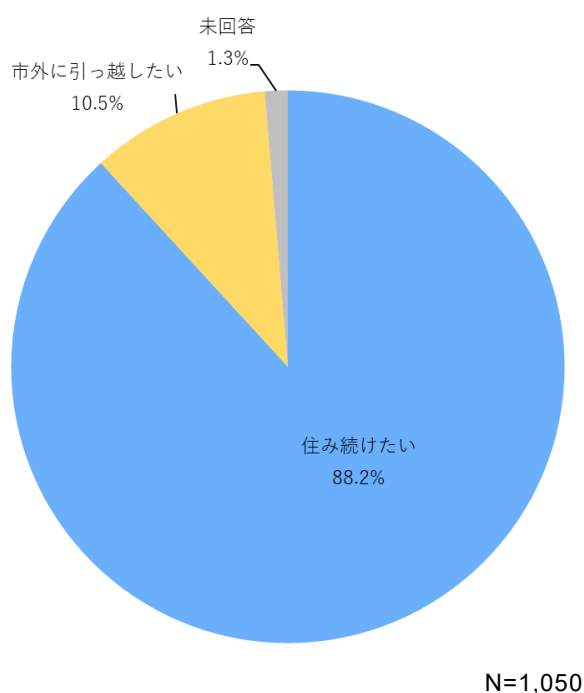
問6 あなたにとって、燕市は住みやすいまちですか。

「住みやすい」が 36.0%、「どちらかと言えば住みやすい」が 55.4%、「どちらかと言えば住みにくい」が 6.5%、「住みにくい」が 1.2%となった。前回調査と比較して、「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計は 1.4 ポイント増加した。



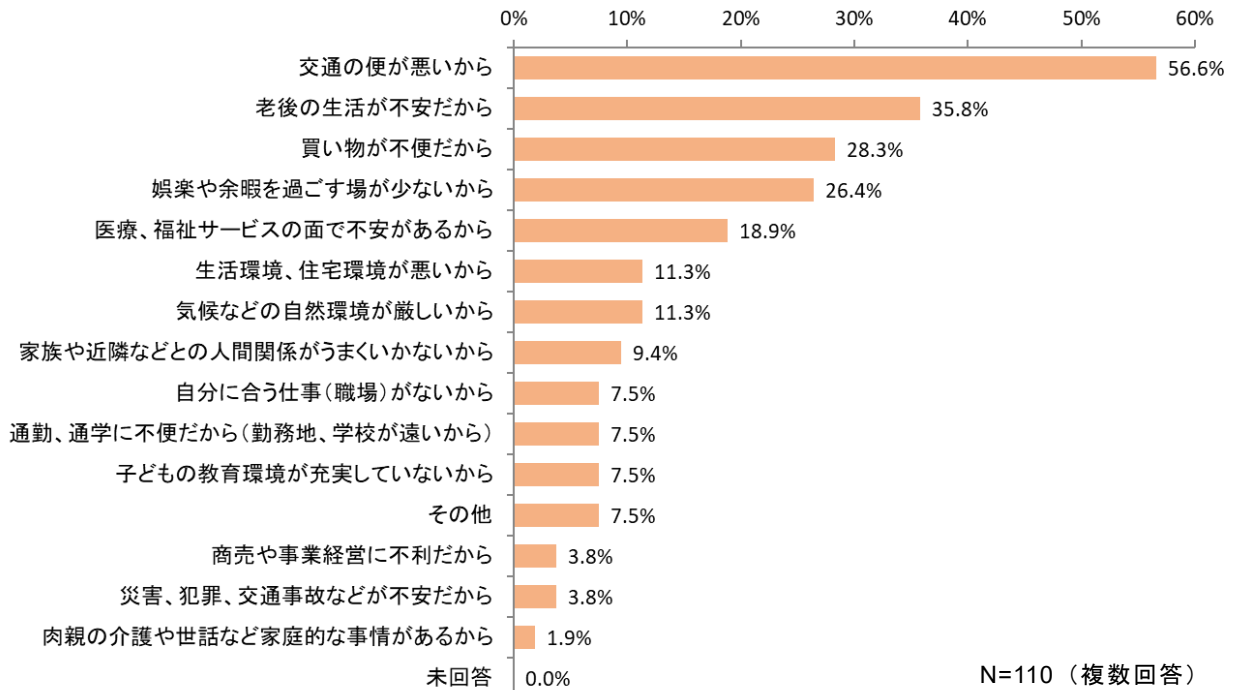
問7 あなたは、今後も燕市に住み続けたいですか。

「住み続けたい」が 88.2%、「市外に引っ越したい」が 10.5%となっており、前回調査と比較すると、「住み続けたい」が 0.8 ポイント増加した。

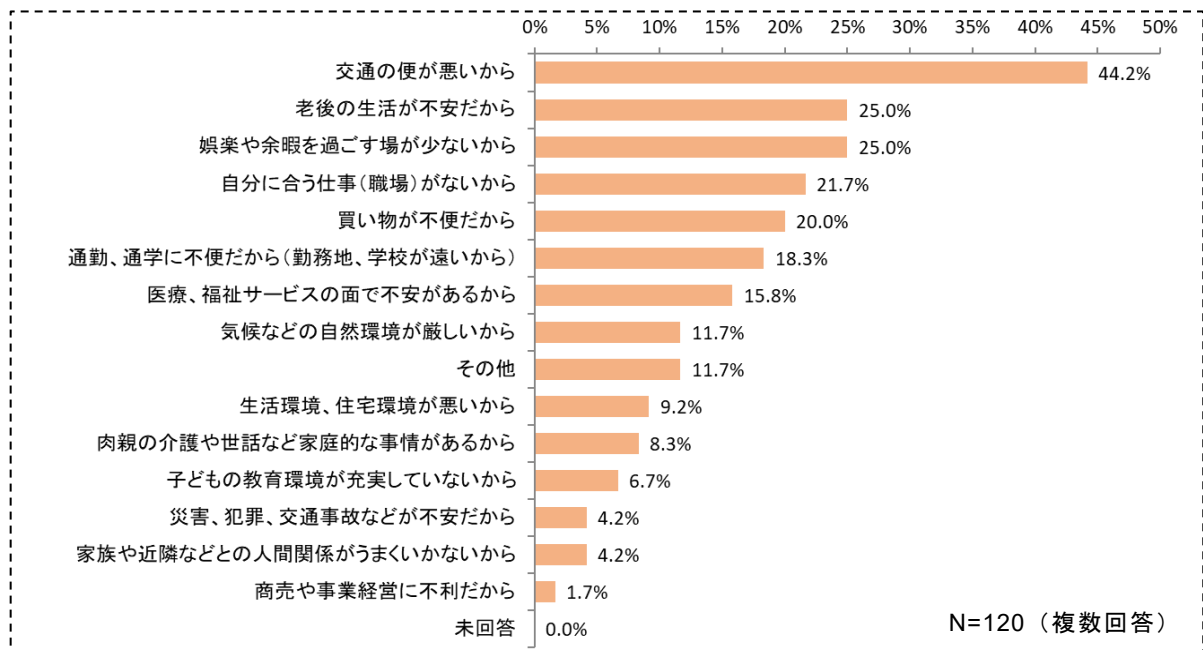


市外に引っ越したい理由

「交通の便が悪いから」が最も多く 56.6%、次いで「老後の生活が不安だから」が 35.8%、「買い物が不便だから」が 28.3%となっている。前回調査との比較では、「交通の便が悪いから」が 2.4 ポイント、「老後の生活が不安だから」が 10.8 ポイント増加した。一方、「自分に合う仕事（職場）がないから」が 14.2 ポイント減少した。



【前回の市民意識調査（令和 6 年 10 月）】

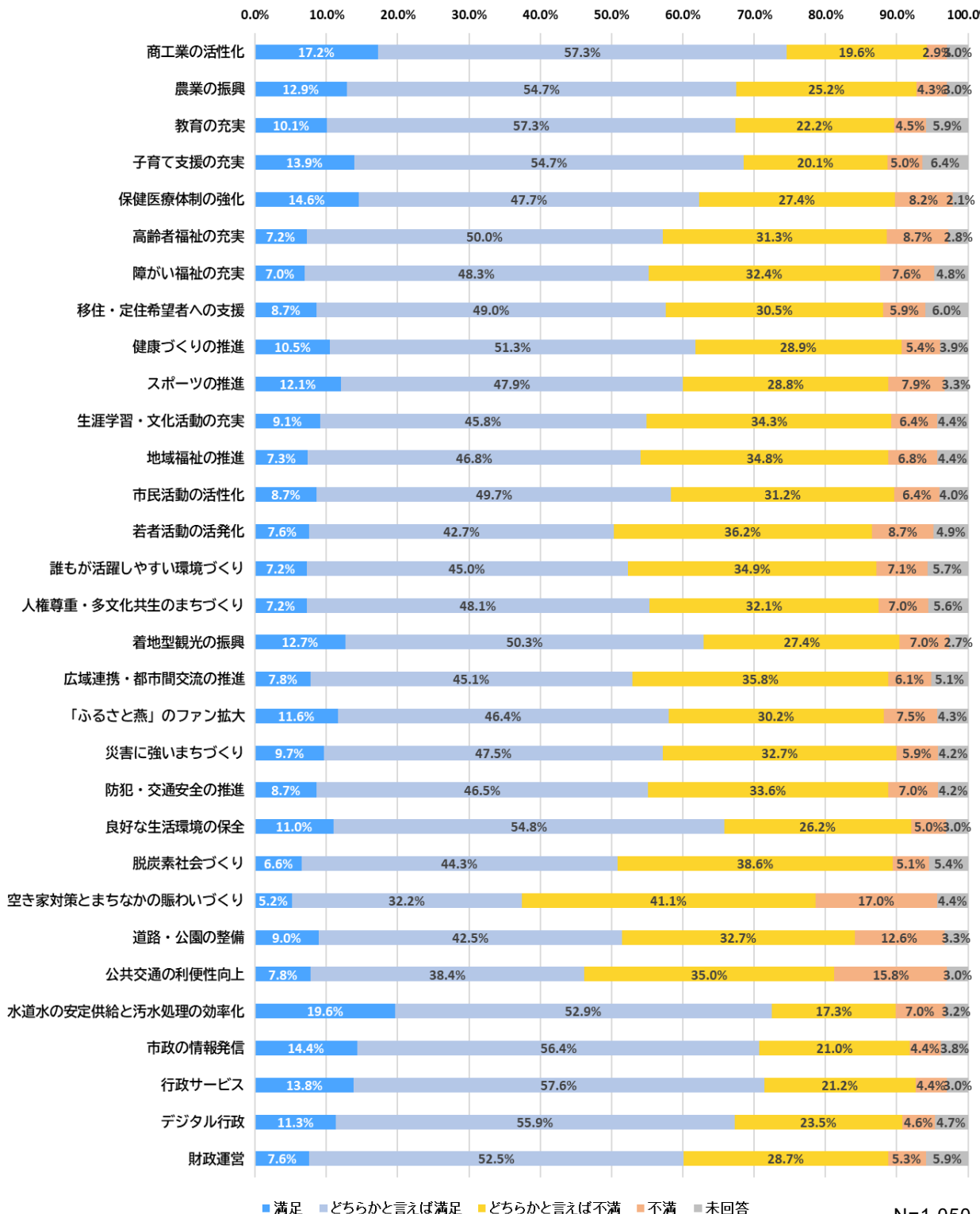


問 8 燕市のまちづくりに対するあなたの満足度をおたずねします。

満足度が最も高い施策は「商工業の活性化」の74.5%で、次いで「水道水の安定供給と汚水処理の効率化」が72.5%、「行政サービス」が71.4%となった。

一方、満足度が低い施策は「空き家対策とまちなかの賑わいづくり」(37.4%)、「公共交通の利便性向上」(46.2%)となっており、これらは他の施策と比べ「不満」の割合が高くなっている。

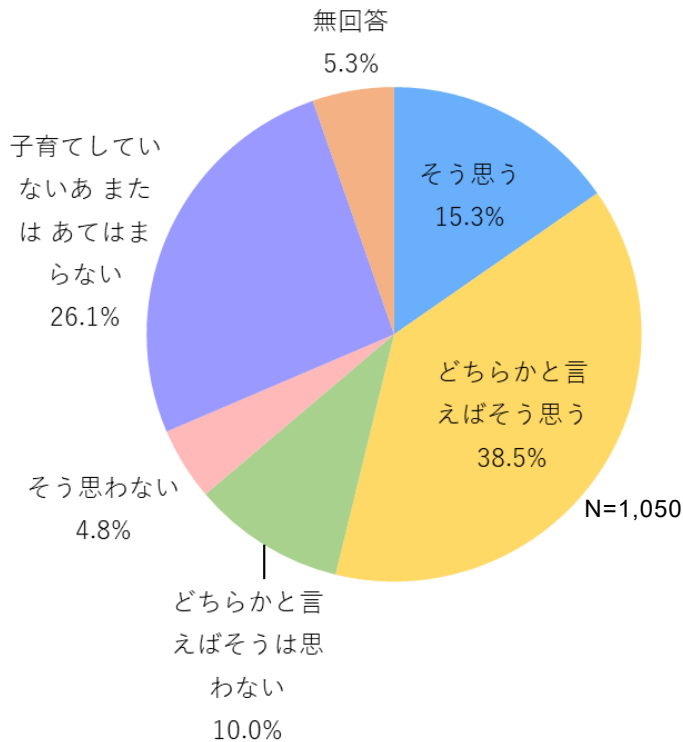
※満足度：「満足」「どちらかと言えば満足」の合計



N=1,050

問 9 燕市では、「子育てするなら燕市で」と言われるようさまざまな取組を進めています。あわせて、夫婦が協力しながら子育てを行い、家庭や職場、地域など、社会全体で子育てを応援する「共育で」の機運醸成にも取り組んでいます。「共育で」について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。

1 夫婦で協力し合いながら子育てができている

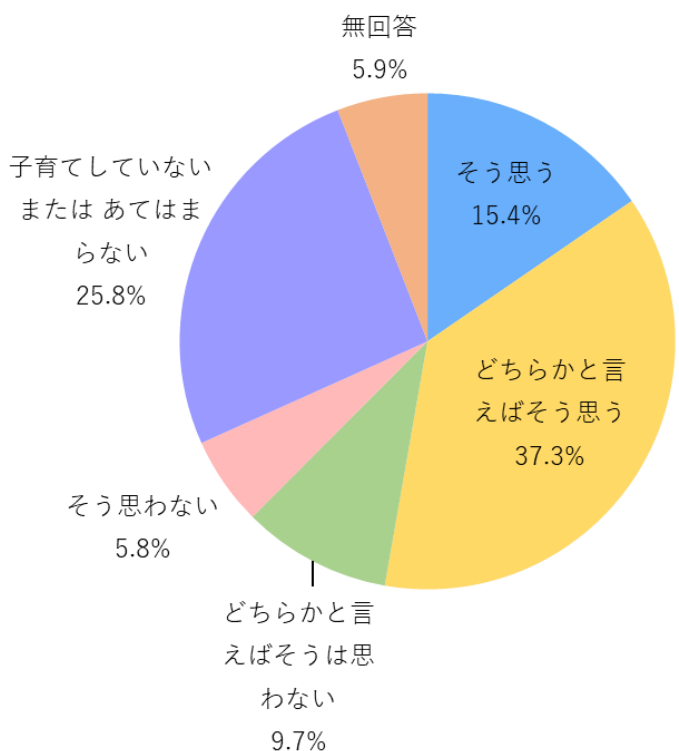


【前回の市民意識調査(令和 6 年 10 月)】

【前回設問無し】

N=1,035

2 祖父母など家族の中で協力しながら子育てができている

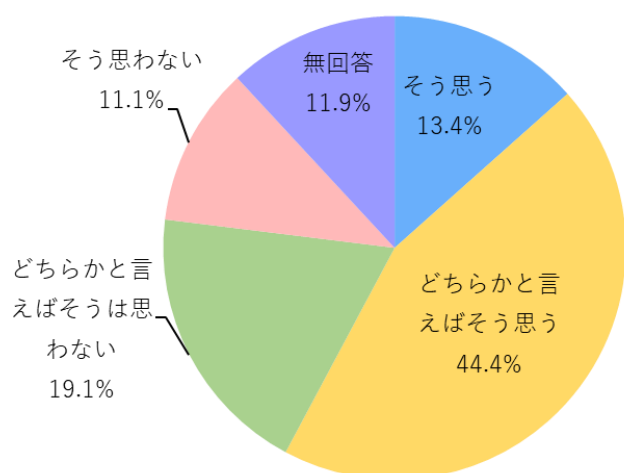


【前回の市民意識調査(令和 6 年 10 月)】

【前回設問無し】

N=1,035

3 職場が子育てに対して理解がある

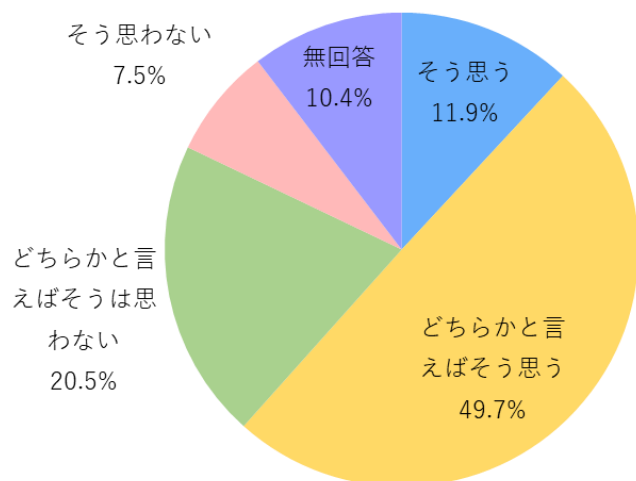


【前回の市民意識調査(令和6年10月)】

【前回設問無し】

N=1,035

4 地域が子育てに対して理解がある

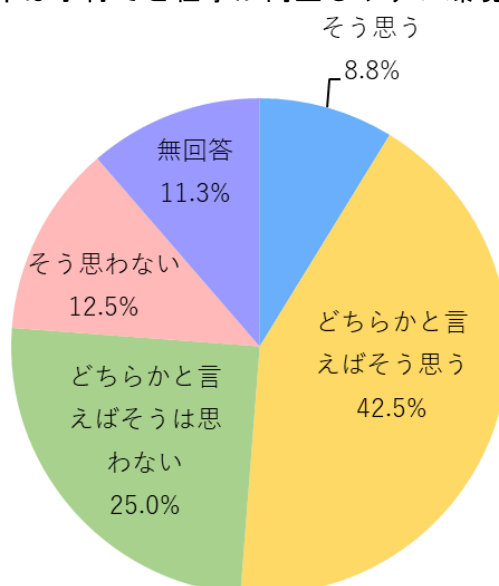


【前回の市民意識調査(令和6年10月)】

【前回設問無し】

N=1,035

5 燕市は子育てと仕事が両立しやすい環境が整っている



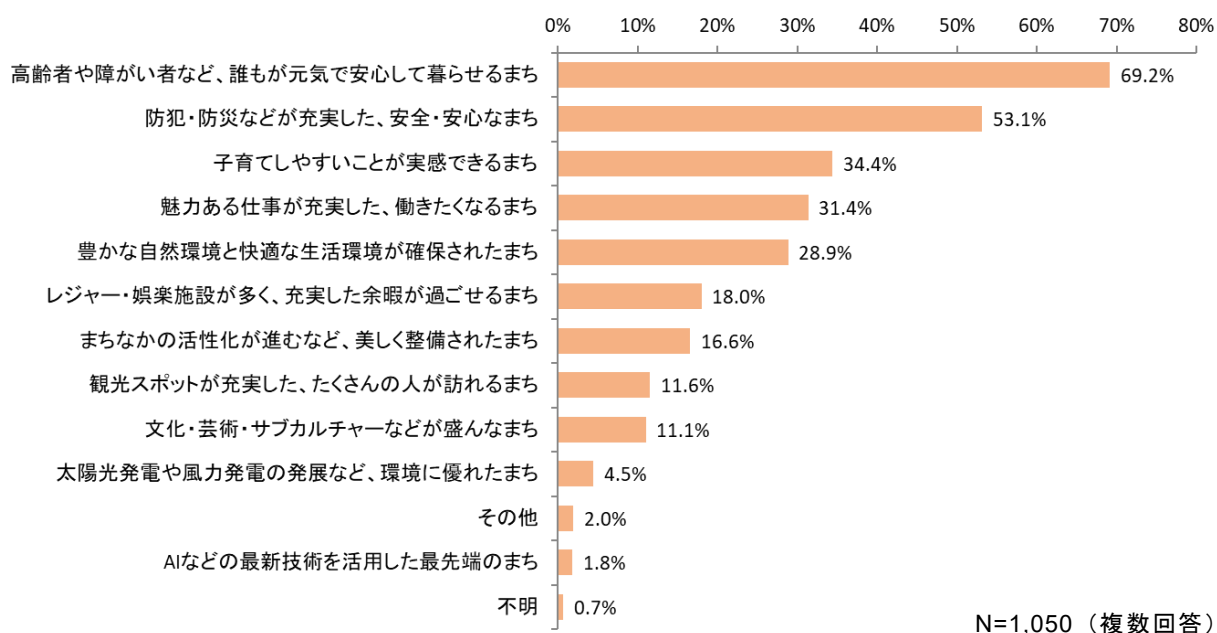
【前回の市民意識調査(令和6年10月)】

【前回設問無し】

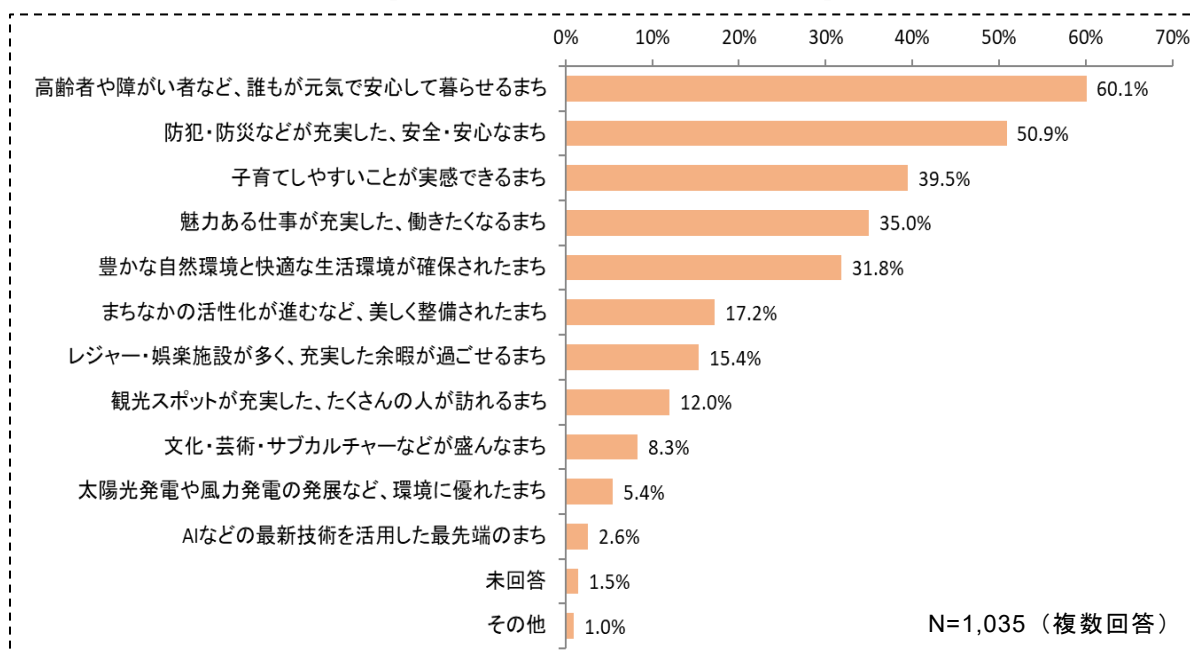
N=1,035

問 10 あなたは、5年後、10年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいですか。

「高齢者や障がい者など、誰もが元気で安心して暮らせるまち」が 69.2%と最も多く、次いで「防犯・防災などが充実した、安全・安心なまち」が 53.1%、「子育てしやすいことが実感できるまち」が 34.4%となった。



【前回の市民意識調査（令和 6 年 10 月）】



燕市まちづくり市民アンケート調査票

1

あなたご自身についておたずねします。 次の（ア）～（キ）の各項目について、
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

（ア）あなたがとらえている あなたの性別は	1. 男 性 2. 女 性 3. その他
（イ）あなたの年齢は	1. 25 歳未満 2. 25～29 歳 3. 30～34 歳 4. 35～39 歳 5. 40～44 歳 6. 45～49 歳 7. 50～54 歳 8. 55～59 歳 9. 60～64 歳 10. 65～69 歳 11. 70～74 歳 12. 75 歳以上
（ウ）あなたのお住まいの地区 （小学校区）は	1. 燕東小学校区 2. 燕西小学校区 3. 燕南小学校区 4. 燕北小学校区 5. 小池小学校区 6. 大関小学校区 7. 小中川小学校区 8. 旧松長小学校区 9. 粟生津小学校区 10. 吉田小学校区 11. 吉田南小学校区 12. 吉田北小学校区 13. 分水北小学校区 14. 分水小学校区 15. 島上小学校区 ※ 小学校区がわからない場合は、自治会（町内）名 を記入してください （ ）
（エ）あなたのお住まいの形態は ※ご家族様名義の持ち家の場合は、 「1. 持ち家」に○印をつけてください。	1. 持ち家（一戸建て、マンション） 2. 借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など 3. その他（ ）
（オ）あなたのお住まいの家族 構成・人数は 「3. 親・子の世帯」または 「4. 親・子・孫の世帯」を選ん だ方で、18 歳未満のご家族がい る場合、 <u>あてはまる年代をすべて</u> <u>選んで○印をつけてください。</u>	●ご家族全員（ご自身含む）の人数（ 人） 1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみの世帯 <div style="border: 1px dotted black; padding: 2px; display: inline-block;"> 3. 親・子の世帯 4. 親・子・孫の世帯 </div> 5. その他（ ） ※18 歳未満のご家族がいる場合 ← ●18 歳未満のご家族の人数（ 人） 1. 未就園児 2. 保育園・こども園児 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生

ここからは、あなたの日常生活についてお伺いしていきます

2

あなたは、どの情報媒体を利用（読む／見る／聴く）して、燕市の情報を取得していますか。利用している番号すべてに○印をつけてください。

1. 広報つばめ
2. 燕市公式ホームページ
3. 燕市公式 LINE
4. 燕市健康・医療・子育て LINE
5. 燕市公式 X（旧ツイッター）
6. 防災つばめ〜ル
7. 燕市子育て支援アプリ はぐはぐ
8. 燕三条エフエムラヂオは〜と「燕情報クリップ」
9. なし

3

あなたは日ごろ、スマートフォンやパソコン、タブレットなどの機器を使用してインターネットを利用していますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

1. ほぼ毎日利用している
2. ときどき利用している
3. 現在利用していないが、これから利用してみたい
4. 現在利用していないし、これからも利用しない

※ 燕市のデジタル化の推進に関してご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

[]

将来も安心して燕市に住み続けるため、以下のことについて、あなたにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

質 問 項 目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	どれかひとつに○			
1 地球温暖化防止を意識して、省エネに取り組んでいる（こまめな消灯などの節電や、省エネ製品の購入・買い替え、太陽光発電の設置など）	1	2	3	4
2 性別、年齢、国籍、障がいの有無など、一人ひとりが持つ様々な違いを個性として認めている（多様性・人権の尊重）	1	2	3	4
3 自然災害に十分備えている（食料の備蓄、避難所の場所を確認、洪水ハザードマップで自宅の位置を確認、風水害におけるマイ・タイムラインの作成、災害時における家族内の連絡方法の確認など）	1	2	3	4

5

あなたは最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動にどの程度参加していますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していない



※「3. 参加していない」理由（最もあてはまるものを1つ）

1. 参加したいが、始めるきっかけや機会がない
2. 参加したいが、どこに問い合わせればいいのかわからない
3. 興味のある活動に対する情報がない
4. 活動に参加する時間がない
5. 活動に興味がない、活動の必要性を感じない
6. その他（ ）

6

1. 住みやすい
2. どちらかと言えば住みやすい
3. どちらかと言えば住みにくい
4. 住みにくい

7

1. 住み続けたい

2. 市外に引っ越したい

※「2. 市外に引っ越したい」理由（主な理由3つまで○印）

-)

燕市のまちづくりに対する、あなたの満足度をおたずねします。

次の1～31の項目について、あなたの生活の状況や暮らしの実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

質 問 項 目		現在の満足度			
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満
定住人口戦略	1 ものづくり産業の生産性向上や販路開拓などにより商工業に活力がある	1	2	3	4
	2 農地の集積や燕市産農産物の流通・販売などにより農業に活力がある	1	2	3	4
	3 燕らしい特色ある教育プログラムなど、小中学校の教育が充実している	1	2	3	4
	4 妊娠・出産・子育てがしやすいよう、子育て支援が充実している	1	2	3	4
	5 病気になったときに安心して医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4
	6 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための支援が充実している	1	2	3	4
	7 障がいのある人が暮らしやすいよう、支援が充実している	1	2	3	4
	8 移住しやすく、移住後も住み続けられるような支援制度が充実している	1	2	3	4
活動人口戦略	9 市民一人ひとりが、自分にあった健康づくりに取り組みやすい体制や環境が整っている	1	2	3	4
	10 誰もがスポーツに親しめる体制や環境が整っている	1	2	3	4
	11 生涯学習や芸術文化活動に取り組みやすい体制や環境が整っている	1	2	3	4
	12 地域で支えあいながら暮らせるまちづくりが進められている	1	2	3	4
	13 自治会をはじめとした地域コミュニティや市民団体などの活動が活発に行われている	1	2	3	4
	14 若者による、まちづくりや地域活性化に向けた活動が活発に行われている	1	2	3	4
	15 性別等に関わらず、誰もが活躍しやすいまちづくりや職場環境づくりが進められている	1	2	3	4
	16 人権尊重と多文化共生に向けた取組が進められている	1	2	3	4

質 問 項 目		現在の満足度			
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
交流・応援（燕） 人口戦略	17 自然環境やものづくり産業などの地域の魅力を活かした観光が盛んである	1	2	3	4
	18 周辺市町村や交流のある県外市町村との連携・交流が進められている	1	2	3	4
	19 燕市のイメージアップやファン拡大に向けて市の魅力が市内外に発信されている	1	2	3	4
人口戦略を支える都市基盤の整備	20 防災対策や地域防災活動など災害に備えたまちづくりが進められている	1	2	3	4
	21 安心して暮らせるよう防犯対策や交通安全対策が進められている	1	2	3	4
	22 ごみの減量・再資源化や公害防止など良好な生活環境の保全が進められている	1	2	3	4
	23 省エネ活動の推進や再生可能エネルギーの活用に向けた取組が進められている	1	2	3	4
	24 空き家・空き地の活用促進と市街地のにぎわいづくりに向けた取組が進められている	1	2	3	4
	25 道路や橋、公園の整備・維持管理が適切に行われている	1	2	3	4
	26 市内循環バスやデマンド交通の運行など公共交通の利便性向上が進められている	1	2	3	4
	27 上水道の安定した供給と下水道などの汚水処理が適切に行われている	1	2	3	4
行財政運営	28 市の取組や各種支援制度、イベント情報など、市政情報が発信されている	1	2	3	4
	29 窓口対応や市民の利便性向上につながる取組など行政サービスが充実している	1	2	3	4
	30 オンライン申請やキャッシュレス決済など、行政サービスのデジタル化が進んでいる	1	2	3	4
	31 行財政改革や財政健全化の取組などにより適切な財政運営が行われている	1	2	3	4

次ページが最後のページです 

燕市では、「子育てするなら燕市で」と言われるようさまざまな取組を進めています。あわせて、夫婦が協力しながら子育てを行い、家庭や職場、地域など、社会全体で子育てを応援する「共育て」の機運醸成にも取り組んでいます。「共育て」について、あなたの考えにあてはまるものを、それぞれ1つ選び○印をつけてください。

質 問 項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	あてはまらない または 子育てしていない
	どれかひとつに○				
1 夫婦で協力し合いながら子育てが できている	1	2	3	4	5
2 祖父母など家族の中で協力しなが ら子育てができている	1	2	3	4	5
3 職場が子育てに対して理解がある	1	2	3	4	
4 地域が子育てに対して理解がある	1	2	3	4	
5 燕市は子育てと仕事が両立しやす い環境が整っている	1	2	3	4	

5年後、10年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいですか。あなたのお考えに最も近いものを3つまで選び○印をつけてください。

1. 魅力ある仕事充実した、働きたくなるまち
2. 子育てしやすいことが実感できるまち
3. 高齢者や障がい者など、誰もが元気で安心して暮らせるまち
4. 文化・芸術・サブカルチャーなどが盛んなまち
5. 観光スポットが充実した、たくさんの人が訪れるまち
6. 豊かな自然環境と快適な生活環境が確保されたまち
7. 防犯・防災などが充実した、安全・安心なまち
8. まちなかの活性化が進むなど、美しく整備されたまち
9. レジャー・娯楽施設が多く、充実した余暇が過ごせるまち
10. AIなどの最新技術を活用した最先端のまち
11. 太陽光発電や風力発電の発展など、環境に優れたまち
12. その他（ ）

今後の燕市のまちづくりに関するご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。